

コロナ禍における進路指導部の対応と取り組み

進路指導部 増田朋美 宮本真衣 青山昌平 神谷良明
有本明日翔 山本真生 岩崎知博 天羽康

1. 今年度の大学入試改革とコロナ禍の影響による進路指導部の対応【増田】

今年度の高校 3 年生は、大学入試改革とコロナ感染拡大の影響で、さまざまな変化や変更柔軟に対応しなければならず、例年以上に大変厳しい受験期となった。本章では、大学入試改革とコロナ禍の影響による入試の変更について整理し、今年度の進路指導部の対応と取り組みをまとめる。

(1) 大学入試改革の影響

そもそも今回の大学入試改革は、コロナ禍前にもさまざまな指針が二転三転し、今年受験を控えていた生徒や保護者、教員にとって、とても不安と不満が残る改革であった。2019 年 11 月には大学入試英語成績提供システムの導入が見送られ、12 月には大学入学共通テスト「記述式問題」導入が見送られた。さらにコロナ禍の全国一斉休校措置があげると、2020 年 8 月には「JAPAN e-Portfolio」の運営許可が取り消され、当初いわれていた改革の大部分が骨抜きになった大学入試改革元年をむかえた。

とはいえ、センター試験は共通テストに移行され、知識理解の質や、思考力・判断力・表現力を駆使して解決するような出題の傾向になるといわれている。複数の出版社および予備校の問題集や模擬試験を多く取り入れ、新傾向の問題対策をした。また、リーディングとリスニングのリニューアルで、各大学によって共通テストの英語の活用の仕方（特に配点）はかなり異なる。国公立大学の出願は十分検討したい。

(2) 新型コロナ禍における大学入学試験の対応のまとめ

○共通テストの対応

- ・第 2 日程（1/30・31）が設定されたが、第 2 日程が受験できるのは、学業の遅れを理由に学校長が認めた現役生に限られた。出願時に選択が可能であった。
- ・受験時のマスク必須化（※診断書と共に配慮申請したものを除く。）をはじめとした感染対策がマニュアル化された。いわゆる学年団の「応援」も禁止された。

○選抜方法の変更例

- ・一部の大学では個別試験の廃止を表明している。ほかにも大学によってオンラインでの面接試験実施、または面接や実技試験の廃止が行われた。本校生徒も学校型選抜や総合型選抜でオンライン面接を経験した生徒がいた。

○出題範囲の配慮

- ・科目変更、科目数減の配慮はほとんどみられないが、高校 3 年生で履修することの多い特定の科目（数学Ⅲ、理科専門科目、地歴 B 科目）では「発展的な学習内容」からの出題をしない、または、補足説明をするといった配慮があった。ただし、一部の大学にこのような配慮があっても、生徒は複数の大学を受験するため、現実的でなかった。

○罹患者の受験機会の確保

- ・ 追試験の実施
- ・ 別日程への振替
- ・ 共通テストの成績で代替 等

(3) 推薦 AO 指導の影響と今年度の傾向

- ・ 安全志向、県内志向の影響で学校型選抜、総合型選抜の受験希望者が増えることが予想されたが、結果的に本校では学校型選抜希望者は減少、総合型選抜受験者微増であった。国公立大学の推薦や AO は減少した。
- ・ コロナ禍での各種大会・コンクール・検定等の中止を受けて、本来であれば達成できたであろう実績の見込みを学校で保証するなど、例外的な対応を求められた。また、出願要件・配点の変更はもちろん多かった。多くの生徒が 3 年次に予定していた大会や検定を行えなかったため、不利益のないよう配慮があったわけだが、特に英語外部検定を活用する入試は、出願間際まで変更が多く、どこか情報合戦的な側面もあった。

(4) 各種研究会・進路講話・PTA 講演会などの中止による進路指導の影響

- ・ 多くの研究会はオンラインで実施された。繰り返し見られる、都合のいい時間に視聴できるなどの利点はあるものの、変化の多い年に外部の方、他校の方等と情報交換できないことは不安であった。また、勤務時間と個人の時間の線引きがあいまいだった面もあった。出張以上に、オンライン研究会の参加は頼みづらかった。
- ・ 生徒向け進路講話や保護者向け講演会など、進路情報を提供する機会が激減してしまった。もう少し工夫する余地があった。
- ・ 私大入試説明会（県内 6 大学）は以下の通り変更し実施した。入試の変更点が多く、大学側から要点を直接伝えてもらう機会が持てたのは良かったが、感染対策の観点から、対象は 3 年生生徒のみとし、保護者の参加を見送った。

日時：12 月保護者会期間中⇒2 学期期末考査最終日

対象：生徒・保護者⇒3 年生徒（事前登録制）

方法：個別ブースでの質問方式⇒3 部制（40 分）の説明会方式

2. 校内の年間計画の変更やコロナ感染対策のための進路指導部における対応

全国一斉休校により、特に 1 学期の年間行事予定が大きく変更になった。進路指導部では、3 年生の通常補習や校外模擬試験、全学年の夏期補習が中止または日程変更になり、実施においても感染防止観点から、オンラインの活用や会場設営の工夫を行った。

また、PTA 総会の後の学年別懇談会や進路講演会、生徒への進路ガイダンスなどの不実施により、もろもろの進路情報の伝達が例年より不十分な中、各学年の先生方の協力で、2 学期後半には何とか例年通りの進路指導・受験指導が行えている。

以下、校内の年間計画の変更やコロナ感染対策のための進路指導部における対応をまとめる。

(1) 3 年生模擬試験について【宮本】

3 年生では年間で以下の模試を全員受験することを予定していたが、新型コロナの感染状況を踏まえ、

一部の模試を希望制とした。

休校明けの最初の模試では、まだ授業においてもクラスを分散して行っていたこともあり、教室内の人数を半分に制限して実施した。その後も教室での密を避けるために、例年よりも実施教室数を増やして対応した。

| | |
|----------------------|----------------------|
| 5月5日（火）、6日（水）※1 | 第1回全統共通テスト模試 |
| 5月23日（土）※1 | 第1回全統記述模試 |
| 5月30日（土）、31日（日）※2 | 第1回西三テスト・総合学力共通テスト模試 |
| 7月4日（土） | 総合学力記述模試 |
| 8月1日（土）、2日（日） | 第2回全統共通テスト模試 |
| 8月29日（土） | 第2回全統記述模試 |
| 9月12日（土）、13日（日） | 第1回ベネッセ駿台共通テスト模試 |
| 10月10日（土）※2 | 第2回ベネッセ駿台記述模試 |
| 10月17日（土）、18日（日） | 第2回西三共通テスト模試 |
| 10月24日（土） | 第3回全統記述模試 |
| 10月31日（土）、11月1日（日）※2 | 第2回ベネッセ駿台共通テスト模試 |
| 12月5日（土）、6日（日） | 全統プレ共通テスト |
| 12月23日（水）～25日（金） | 共通テスト対策Kパック |

※1 模試中止 ※2 希望制

(2) 補習について

1) 3年生の補習の取り組み【青山】

例年4月から実施している前期補習が休校のため開催できず、5月末から学校が再開された後も、感染症対策で通常補習が開催できなかった。そのため、6月の20日（土）と27日（土）の二日間でZoomによるオンライン補習を実施した。1コマ30分で1日6講座開催し、休校中にオンラインによる学習支援を行っていたため、教員と生徒ともに混乱することなく2日間の補習を行うことができた。

7月の期末考査以降は対面での補習が行えるようになったが、感染症対策として教室に人数制限をかけて行った。そのため、受講人数が多い講座に関しては2つの教室に生徒を分けて、教室同士をZoomでつないで中継しながら補習を行った。生徒と担当教員への負担はあったが、学校再開直後の分散登校の経験を生かすことで感染症対策を踏まえた補習の実施ができた。

新型コロナウイルスの対策を行いながら補習を進めることになり、例年通り実施できない部分も多々あったが、教員と生徒の協力と柔軟な対応のおかげで3年生の補習を可能な範囲で行うことができた。

2) 2年生のオンライン補習の取り組み【神谷】

2年生は、3月から5月末までの休校期間に、オンラインによる学習支援を行った。方法は主に2種類で、1つはClassiによる個別指導、そしてもう1つはYouTubeLIVEによる学習支援動画の配信である。後述にあるYouTubeにおけるライブ配信のノウハウを、6月以降の週末補習として継続していかないと計画し、以下のように補習を行った。

[実施期間や実施形態]

| 実施期間 | 配信方法 | 実施形態 |
|----------------------|---|--|
| 6月20日 6月27日 | 【オンデマンド型】 ・YouTubeLIVE（午前） ・YouTube 限定配信（午後） | ・午前3コマ 1限（9:00～）、2限（10:00～）、3限（11:00～） 国語・数学・英語で各30分のライブ配信を実施 ・計7本のオンデマンド型動画と午前に実施したライブ配信のアーカイブ動画の配信 |
| 夏季休業中 | 【オンデマンド型】 ・YouTube 限定配信 【同時双方向型】 ・Zoom を利用 | ・計13本の動画を8月9日、16日の2日間に分けてアップロードし、9:00にClassi校内グループによる限定公開のURLを配信。 ・8月8日、23日の9:00から、それぞれ1コマ数学の学習支援を実施  |
| 10月24日 10月25日 | 【オンデマンド型】 ・YouTube 限定配信 【同時双方向型】 ・Zoom を利用 | ・2本の動画をアップロードし、9:00にClassi校内グループによる限定公開のURLを配信。 ・数学、英語（リスニング）の学習支援を実施 |

オンライン補習では、主に YouTube へ動画をアップロードし、限定公開による配信という形態で行った。内容については、直近の模試をターゲットに、各教科における重点項目を中心に問題解説を行った。また、学年で継続して行っている上位者指導に関わる内容を始め、授業とリンクさせた教科横断型（英語と世界史）の内容など、各教科工夫を凝らした配信を行った。

YouTubeLIVE における配信では、コメントを制限したため双方向性に欠けていた。その部分を補うために Zoom を利用した双方向型の学習支援についても実践した。ブレイクアウトセッションを用いてグループワークを行った実践では、授業に近い形態をとることができた点において、とてもよい実践となった。また、英語の実践においても、リスニングをオンラインで行うなど、Zoom を利用した実践は実用的な運用が幅広くできた。

・課題と問題点

学校再開後の活動となったこのオンライン補習では、YouTube の視聴数が休校中（5月）と比較して

大幅に減少している。理由の一つとして、生徒は日々の授業や課題、部活動などに追われ、学習動画を視聴する余裕がないといった点があげられる。配信内容については、アンケートの結果からも模試の解説や授業とリンクした学習に一定の満足度は得られているため、配信の時期やタイミングについて検討し、今後の学習支援の一つのツールとして活用していきたい。

3) 1年生のオンライン補習の取り組み【有本】

7月23日（木）より、国語・数学・社会・理科・英語の5科目において、希望者を対象とし、夏休みの補習に代わる形でアーカイブにて実施した。開講した講座は以下の通りである。

| 講座名 | 実施日 | 視聴回数 |
|--------------------------|-----------|------|
| 発音クリニック① | 2020/7/23 | 382 |
| 発音クリニック② | 2020/7/23 | 278 |
| 英文解釈 基礎編 | 2020/7/29 | 120 |
| 古文補習講座「伊勢物語第12段」 | 2020/8/3 | 203 |
| 夏期補習：数学「区間が動く時の最大・最小」 | 2020/8/3 | 92 |
| 夏期補習：数学上級レベル | 2020/8/3 | 74 |
| 英文解釈練習編（前半） | 2020/8/5 | 81 |
| 英文解釈練習編（後半） | 2020/8/5 | 60 |
| 現代社会 模試解説 | 2020/8/8 | 111 |
| 化学基礎「模擬試験の過去問にチャレンジしよう！」 | 2020/8/8 | 103 |
| 地学基礎「夏休み課題導入講座」 | 2020/8/8 | 141 |
| 英文解釈挑戦編（前半） | 2020/8/17 | 32 |
| 英文解釈挑戦編（後半） | 2020/8/17 | 35 |
| 古文補習2「1学期の復習」 | 2020/8/17 | 74 |
| 化学基礎「molと仲良くなろう」 | 2020/8/17 | 91 |

(3) 大学出前授業について【山本】

本校では例年、第1・第2学年を対象に、県内外から大学の先生方をお招きし、大学出前授業を行っている。この出前講義は、学問分野ごとに生徒を分け、約80分間の模擬大学講義を受講させる形式をとってきた。大学の講師の話を直接聞くことで、進路理解を深め、進路選択の一助となる機会となっている。

本年度当初は、本校の受け入れ体制や大学側の講師派遣の難しさから出前講義の実施が危ぶまれた。しかしオープンキャンパスや進路説明会など1・2年生が参加できる進路関係の行事が限られてしまったため、どうにかして実施したいと考え、コロナ感染対策を行った上で実施することができた。出前講義自体の形式は大きく変えず、校内におけるコロナ対策の徹底および、来校される講師の方にもアルコール消毒や検温などの協力をもとめた。昨年度からの変更点として、一講義あたりの受講者を減らすため、講座数を増やしたことと、一部でZoomを利用したリモート講義を実施したことが挙げられる。また、出前講義に向けての事前学習として昨年度はクラスを越えて、講座ごとにグループを作って調べ学習を行ったが、今年度は個人での調べ学習にとどまった。

生徒を対象に行った事後のアンケートでは、出前講義全体に対して生徒の満足度は高かった。またリ

モート講義を実施した講座では、講師の先生が使用した人形などを直接見たかったなど対面での実施を望む意見もあった。しかし、講師の先生が写真やスライドなど豊富な資料を用意してくださり、また双方向のメディアである Zoom を利用して質疑応答の時間を設けることができたこともあって、受講した生徒の多くから満足したという結果を得ることができた。

(4) スタディーサポートについて【岩崎】

コロナ禍による全国一斉休校のため、例年4月当初に実施していたスタディーサポートも中止を余儀なくされた。学校再開後も、授業時間数の確保と生徒の健康維持に配慮し、「学力リサーチ」の実施は見送ることとなったが、「学習状況リサーチ」については、自宅での回答という形で実施することができた。(1年生は4月当初に、2年生は6月休校明けに実施。) コロナ禍による長期間の休業が、生徒の進路意識や学習習慣にどのような影響を与えたのか、その一端をうかがい知ることができたことは有意義であったが、年度当初の基礎的な学力の状況が把握できなかったことは残念だった。特に1年生は、1学期中間考査が実施されなかったこともあり、文理選択などの進路指導に際して学力面での判断材料が乏しく、難しいところがあった。

以下、学習状況リサーチの結果から、その一部を紹介する。

1年生 ※ () の中は前年度の1年生の数値

- ・「高校生活についての現在の気持ち 授業の進度についていけるか不安」48.5% (45%)
- ・「高校生活についての現在の気持ち 勉強の仕方がわからず不安」7.5% (4.5%)
- ・「悩み・相談したいこと 学習について」53% (46.5%)
- ・「学校生活の振り返り (10点満点)」平均 6.9 点 (7.1 点)
- ・「平日の学習時間」平均 1 時間 37 分 (1 時間 38 分)
- ・「休日の学習時間」平均 2 時間 48 分 (2 時間 47 分)

中学校生活の終わりから休校となった影響なのか、学習面での不安を感じている生徒が多く、中学校生活の振り返りの点数もやや低い。一方で、平日・休日とも学習時間は前年とほとんど差は見られなかった。

2年生 ※ () の中は前年度の2年生の数値

- ・「希望進路 4年制大(国公立)」41.7 (53.4)
- ・「悩み・相談したいこと 学習について」39.1 (45)
- ・「悩み・相談したいこと これからの進路選択・進学先決定について」34.9 (24.6)
- ・「学校生活の振り返り (10点満点)」平均 5.3 点 (5.2 点)
- ・「平日の学習時間」平均 1 時間 25 分 (0 時間 56 分)
- ・「休日の学習時間」平均 2 時間 18 分 (1 時間 37 分)

休校期間中の手厚いオンライン指導の賜物であろうか、学習面での不安は前年より低いという予想外の結果となった。一方で進路選択については不安を感じている生徒が多く、国公立大学志望も大きく減少している。個人面談等で進路について相談する機会が失われた影響が感じられる。学習時間については、(前年度が少なすぎるくらいはあるが) 前年度を大きく上回っており、学校再開直後の意欲の高さがうかがわれる。